

分類	区分	処置	苦痛度の カテゴリー*
疾患モデル動物(自然発症・遺伝子改変・疾患誘発)	脳・神経	嘔吐	C
		認知症	C
		脳梗塞・虚血	D
		プリオン病	D
		脊髄損傷	D
		末梢神経損傷	D
		末梢神経変性	D
		パーキンソン病	D
	眼	白内障(自然発症)	C
		白内障(薬物投与)	C
		網膜障害	C
		網膜障害誘発	C
	胸腺	胸腺腫	C
	心臓	心筋症	D
		心筋梗塞・虚血	D
	肝	惹起肝・腎障害( $\alpha$ -ナフチルイソチオシナート)	D
		肝嚢胞(EHEN)	D
		肝障害(四塩化炭素)	D
	腎臓	蛋白尿発症	B
		糖尿病	D
		人為的な腎障害	D
		IgA腎症	D
		嚢胞腎	D
		腎臓欠損	D
	腸	マウス実験性腸炎	D
		ラット実験胃潰瘍	D
		過敏性腸症候群	D
		家族性大腸腺腫瘍症	D
		ウイルス性下痢症	C
	筋・骨	筋萎縮	D
		大腿骨欠損	D
		筋ジストロフィー	D

(\*苦痛のカテゴリーは最大限の病態が得られることを前提とする。実験に使用する時点で「臨床症状が現れる前の初期段階」あるいは「臨床症状が現れるが、苦痛の程度が低い」場合は、その旨を明記して苦痛度を下げる。)

分類	区分	処置	苦痛度の カテゴリー*
疾患モデル動物(自然発症・遺伝子改変・疾患誘発)	全身	皮膚障害	C
		肥満	C
		高血圧症(脳卒中モデルを含む)	D
		運動障害	D
		先天奇形	D
		自己免疫疾患	D
		代謝異常疾患	D
		ウィルソン病	D
		中枢神経系に炎症反応を誘引	D
	担がん	担がん	D
その他	その他健康体に回復出来ない疾患モデル	D	
(*苦痛のカテゴリーは最大限の病態が得られることを前提とする。実験に使用する時点で「臨床症状が現れる前の初期段階」あるいは「臨床症状が現れるが、苦痛の程度が低い」場合は、その旨を明記して苦痛度を下げる。)			

分類	区分	処置	苦痛度の カテゴリー	
実験的処置	保定・固定	保定	B	
		固定	B	
		体重測定	B	
		耳パンチ(個体識別)	B	
	投与・注入	自由摂取(経口摂取)	B	
		ゾンデによる経口投与(熟練者)	B	
		吸入投与	B	
		経鼻投与	B	
		内耳注入投与	B	
		腹腔内投与	B	
		皮下投与	B	
		眼内注入(麻酔下)	B	
		筋肉内投与(麻酔下)	B	
		視神経へ注入(麻酔下)	B	
		脳内投与(深麻酔下)	C	
		脳室投与(深麻酔下)	C	
		静脈内投与(麻酔下)	B	
		細胞性免疫アジュバンド投与	C	
		負荷試験	トレッドミル(回転加速度負荷)	B
			トレッドミル(直線加速度負荷)	B
	振とう負荷		B	
	拘束ストレス(短期間)		C	
	拘束ストレス(数時間以上)		D	
	再灌流負荷(肝臓、脳)		C	
	母子分離負荷(マウス、ラット)		C	
	水回避ストレス(短期間)		C	
	給餌、給水制限	給餌制限(2-3時間)	B	
		給餌制限(数時間以上)	C	
		給水制限(2-3時間)	B	
	採血 (麻酔下)	尾静脈採血	B	
耳静脈採血		B		
心臓採血(一部採血)		B		

分類	区分	処置	苦痛度のカテゴリー
移植・手術(外科的処置)・その他の医療的行為	移植 (麻酔下)	卵管内移植(胚)	C
		子宮内移植(胚)	C
		臓器内移植(細胞)	C
		臓器移植	D
		膝関節腔内移植	D
		軟骨移植	D
		骨移植	D
	創傷関連 (麻酔下)	傷口の縫合	C
		創傷作成(広範囲)	C
		開眼窩	B
	挿管・カテーテル (麻酔下)	気管内挿管	B
		カテーテル/ポンプ留置(短期間)	B
		血管カテーテル留置(長期間)	C
	カニューレション (麻酔下)	血管内カニューレション	C
		脳内カニューレション	C
	埋込み処置 (麻酔下)	テレメトリー埋込み	C
		電極埋込み	C
	切断処置 (麻酔下)	頸椎除去	D
		キアリ骨盤骨きり術	D
		視神経の切断	D
	切開 (麻酔下)	開腹	D
		開胸	D
		開頭	D
	生検 (麻酔下)	生検(開腹なし)	C
		生検(開腹あり)	D
	摘出 (麻酔下)	摘出(臓器以外:リンパ節、脂肪等)	C
		摘出(臓器:精巣、卵巣、腎臓、肝臓等)	D
	人工授精関連	新生仔蘇生	B
		人工哺育/里仔	B
		採卵(麻酔下)	B
		帝王切開(麻酔下)	B
		精管結紮(麻酔下)	C
		卵管結紮(麻酔下)	C
		動脈結紮(短時間)(麻酔下)	C
		動脈結紮(長時間)(麻酔下)	D
		静脈結紮(短時間)(麻酔下)	C
		静脈結紮(長時間)(麻酔下)	D
	電気刺激	軽微な電気刺激	B
	X線照射 (麻酔下)	X線撮影(単純撮影)	B
		X線撮影(造影剤使用)	B
		X線照射(免疫抑制)	C
X線照射(骨髄の機能破壊)		D	